

大阪市立 矢田東小学校

- 所在地 住道矢田2-7-43
- 電話番号 06-6702-9877
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741700>
- 校長 梶原 進
- 標準服 なし
- 集団登校 なし



学校概要

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、主体的に生き抜く子どもを育てる

【めざす子ども像】 なかよく助け合う子・すすんで取り組む子・つよい体にきたえる子

【校長先生のメッセージ】 本校は東住吉区の南部に位置します。大和川がすぐそばを流れ、田園風景のみられる自然豊かな環境に恵まれた地域です。4年前に創立50周年という記念の年を迎えました。子どもたちは、広い運動場に加え、ジャングルジムや雲梯・鉄棒のある芝生広がる緑豊かな中庭で元気いっぱい運動して、楽しく過ごしています。学校・家庭・地域で、学校教育目標の実現に全力で取り組んでいます。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 家庭との連携を密に行い、生活指導案件に対して早期解決を図る。
- いじめの認知と解消に向けて、組織的な対応を行う。
- 道徳教育の充実を図る。
- 体験的な学習の充実を図る

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基礎基本の定着を図り主体的な学びを育む。
- 授業改善の推進を行う。
- 「矢田東漢字・計算クライミング」などで基礎学力の定着を図る。
- 施設・教具を有効に活用し、体力・運動能力の向上を図る。
- 休み時間を活用した業間体育を実施し、体力づくりを図る。
- 学級文庫の整備や学校図書館補助員との連携を図り、読書意欲の向上を図る。
- 給食指導や栄養指導を通して、児童の生活習慣の改善を図る。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICT機器の効果的な活用を図り、毎日の授業改善を実践する。
- 教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	41	38	36	41	37	53	246
学級数	2	2	1	2	2	2	11
特別支援学級							2

全国学力・学習状況調査結果（令和5年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数
平均正答率(%)	58	51

国語・算数ともに全国平均・大阪市平均を下回った。しかし、前年度よりはその差が縮まっている。国語科では、「B 書くこと」・「C 読むこと」について、全国比で差はあるものの昨年度と比べると自校では大きく向上している。算数科では、「図形」・「データの活用」に関して平均を大きく下回った。平均正答率は全国・大阪市平均より下回っているが、自校の経年で見ると少しずつではあるが上がっている傾向がみられる。

「仲良く」・「人の役に立つ」・「あいさつ」の3つについては概ねできている。児童の良いところを認めつつ、アンケートの結果だけでなく、実質も伴った成果として伸ばしていけるような声かけや指導が必要である。ゲストティーチャーを招いた出前授業や学習の場や方法を工夫した体験活動を行っている。また、教職員の研修活動についても、授業力の向上に向けて公開授業を実施したり研究会に出向いたりしている。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和5年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
平均値	男子	15.96	15	29.88	43	41	9.88	145.68	19.76	48.35
	女子	16.24	16	31.77	38	36	10.08	136.26	12.92	49.71

これまで、業間体育や体育の授業の工夫などを念頭に置いて取り組んできた。しかしながら、本テストの当該の5年生児童は、新型コロナウイルス感染症の影響を3年間受けてきた学年でもある。コロナ禍の影響で運動が制限されてきた中で、じわじわとそれによる影響が出てきているのかもしれない。「運動やスポーツをすることが好きですか」という質問事項に、好き・やや好きと肯定的に答える児童の割合は90%以上ある。「好き」ではあるが、数値として好成績に達していないのが本校5年生の状況である。休み時間や放課後、に運動場に出ている児童は比較的多い。これらのことから、「体を動かすことは好きであるが、それぞれの特徴的な動き＝運動につながる体の使い方がしっかりと身についていない」ということが考えられる。今後は、休み時間の遊び活動や体育の授業時間を通して児童に習得していけるような仕掛けや工夫が、指導者サイドに必要であると考えられる。その点において、課題であると考えられる。

基礎学力の定着を図る

朝学習の時間には、英語学習や「算数カルタ」を行ったり、補充学習の時間を設定したりして、子どもの学力向上に努めています。また、朝の読書活動や図書委員会の児童による本の読み聞かせ、図書館開放などを行い、自然と本に親しむ環境を整え、「読書通帳」を活用し、年目標50冊・100冊を目指して意欲的に読書に取り組むようにしています。



矢田東小学校 出前授業

矢田東小学校では、本物と出あうことで未来に希望を持ち、学び続ける子ども達を育てるため、多種多様な業界の第一線で活躍している方を積極的にお招きして授業を行っています。

過去には、食品企業・プロサッカーチーム・プロ野球チーム・オリンピック日本代表出場選手・テレビ局・携帯通信会社・水道局・環境局・図書館などたくさんの企業、行政等と連携して授業を行いました。



なかよく助け合う集団育成

年間を通して、異学年集団（1年生～6年生）による「なかよし班」を編成し、計画的に活動しています。活動内容は、集会活動・東小フェスティバルなどです。これらの活動を通して、なかよく助け合う子どもを育成し、相手の気持ちを受け止め、進んで友だちと関わるようにしています。



つよい体にきたえる

矢田東小学校には運動場の他に中庭もあります。2時間目と3時間目の休憩時間を利用して、「業間体育」を行い、かけ足やなわとびなどを通して体力の向上に努めています。



家庭・地域との連携

- 「昔遊び体験」「商店街調べ」「校区めぐり」などの体験活動
- 「矢田東子ども安全見守り隊」の方々やPTAによる毎日の登下校の見守り活動
- 近隣校区における幼保小連携・小小連携・小中連携・支援学校との連携
- 放課後や土日に行われるスポーツクラブとの連携

